

南九州におけるゆで豆用ラッカセイの栽培技術

第2報 品種と栽植密度

川上 求・富山一男 (宮崎県総合農業試験場畑作園芸支場)

Motomu KAWAKAMI and Kazuo TOMIYAMA: Cultivation Technics of Young Peanut for Boiling in Southern Kyushu

2. Varieties and Planting Densities

近年需要の増加しているゆで豆用ラッカセイのトンネル栽培において、品種の特性と栽植密度の検討を行った。その結果、収量性・品質の点でナカテユタカ及び関東66号がすぐれ、また、栽植密度はa当たり1,600本程度まで密植すると増収効果があると考えられたので、その概要を報告する。

1. 試験方法

品種は、ナカテユタカ、タチマサリ、関東66号を供試した。1990年2月21日に播種し、いずれの品種も開花期後はほぼ70日目(6月下旬)に収穫した。間口1.0mの有孔フィルム(厚さ0.075mm、開孔率3%)トンネルと、ポリマルチ(厚さ0.02mm)を併用したが、トンネルは外気温の上昇した5月1日に撤去した。畦幅120cmで2条千鳥播きとし、株間は18cm(標準:930本/a)、15cm(密植:1110本)、10cm(超密植:1670本)の3区を設置した。施肥量(kg/a)はN:0.1、P₂O₅:1.2、K₂O:1.1で、全量基肥として施用した。

2. 結果及び考察

播種後15日目で出芽したが、覆土がやや過湿で出芽時に硬化し、マルチフィルムに触れた頂芽が枯れる株がみられたので、追播を行った(被害株率8%)。出芽後の生育は順調で、いずれの品種も4月中旬が開花期となった。

栽植密度:初期の生育には密度による差は認められなかったが、5月上旬以降になると密植ほど生育が旺盛になった。第1表に示すように密植により分枝数は減少するが、主茎長は増大し、茎葉重も増加した。しかし、それらの増減の程度は品種により異なった。関東66号は、主茎長や分枝数の密度による変動の割合が、他の品種

に比較すると小さかった。関東66号は、短茎のうえ草型も立性であり、密植しても隣株との競合の程度が小さく、密植適性の高い品種であると考えられた。

密植することにより1株当たりの莢数はわずかに減少し、1莢実重もわずかに小さくなった。しかし、a当たり収量は標準に比較して密植で10~15%、超密植で30~40%の増収した。このことから結実圏の比較的狭いラッカセイで、かつ、早期に収穫するゆで豆用栽培では、密植による莢実の数や重さへの影響は小さく、密植で増収すると考えられる。作業効率を考慮すると、a当たり1600本程度が適当と思われる。

品種特性:いずれの品種も収量は、標準で50Kg/a、密植で55~60Kg/a、超密植で70~75kg/aで品種間に大差はみられなかったが、過去の成績を考慮すると乾燥莢用としても最も多収を示すタチマサリが、他の品種に比較してわずかに多収といえる。しかし、タチマサリはやや充実が不十分である準上莢や屑莢の割合が併せて30~35%と高く、十分充実し高品質の上莢では、ナカテユタカ、関東66号が多くなった。また、莢の色・形・くびれや粒の色・つやなど品質の点でも、ナカテユタカ、関東66号がタチマサリに比較すると優れていると考えられる。ゆで豆として用いる場合は炒豆用以上に見た目の品質が重要と考えられることから、ナカテユタカ、関東66号がゆで豆用品種として適すと思われる。

以上のことから、トンネルを用いたゆで豆用ラッカセイの早出し栽培では、1600本/a程度の密植とすることで増収が期待できる。また、品種としては、品質の優れるナカテユタカ、関東66号が適し、特に関東66号は密植適性が高いことから有望である。

第1表 栽植密度と生育・収量

品 種	栽植密度	茎葉重 (Kg/a)	主茎長 (cm)	分枝数 (/株)	全莢実重* (Kg/a)	同左比率(%)
ナカテユタカ	標準	330	37.7	37.2	51.1	100
	密植	323	38.1	32.6	59.9	117
	超密植	450	41.7	25.3	68.1	133
タチマサリ	標準	243	38.9	17.8	53.2	100
	密植	292	40.8	14.3	60.5	114
	超密植	304	41.9	11.8	75.8	142
関東66号	標準	312	34.9	31.3	51.5	100
	密植	366	34.9	30.7	57.4	111
	超密植	394	35.4	23.9	71.8	139

注)*:生莢実重で示した。

第2表 栽植密度と収量構成要素

品 種	栽植密度	1株莢数		1莢実重(g)		構成比(%)		
		上莢	準上莢	上莢	準上莢	上莢	準上莢	屑莢
ナカテユタカ	標準	9.2	3.5	4.5	4.2	67	24	9
	密植	9.5	3.3	4.2	4.2	69	24	7
	超密植	8.2	2.1	4.0	4.0	76	19	5
タチマサリ	標準	7.4	5.1	4.5	4.8	52	38	10
	密植	8.2	4.2	4.4	4.5	60	31	9
	超密植	8.5	2.8	4.4	4.7	65	27	8
関東66号	標準	9.9	3.8	4.1	4.1	66	25	9
	密植	9.3	3.5	4.1	4.1	68	26	6
	超密植	8.2	2.7	4.0	4.1	70	23	7